



まちづくり検討会議

ニュースレター vol.6

令和7年
12月

「手づくりまつりを実施しました！！」

11月22日（日）に「手づくりまつり」が春日小学校で実施されました。今回、春日小学校区で実施した手づくりまつりでは、「若い世代の住民やこどもに地域活動に参加していただき、若い親世代が積極的に運営などに協力・参加してもらうきっかけ」にするため、学生と地域の方と一緒に企画・実施しました。

学生と地域が連携し、世代を超えてものづくりや学び、交流を通して楽しめる手づくりまつりの企画を約6ヶ月間、何度も会議を実施し、考案しました。学生と地域の皆さんのアイデアがたくさん詰まった「手づくりまつり」当日の様子を報告します。

まずは各ブースの準備からスタート

当日は、手づくりまつり日和のとても良い天気でした。13時からの手づくりまつりスタートに向けて、10時頃から準備を行いました。学生と地域の方で協力しながら、体育館にシートを敷いたり、受付設営をしたり、それぞれのブースに必要なものを準備しました。ブースの設営が終わった後は、受付から企画内容の一連の流れなどの最終確認をして、いよいよ13時から手づくりまつりがスタートしました。



小河会長より全体説明



体育館にシートを敷きました！



受付案内の準備



会場準備



ゲームに使用する風船の準備



看板設置

【チラシ系】 実施内容:総合受付、シールラリー、お菓子のつかみ取り



シールラリーの準備



受付の様子♪



お菓子のつかみ取りの様子



シールラリーのデザイン



呼び込みも頑張りました♪

各ブースに行くとシールが貰えます！シールを2枚以上集めたらお菓子のつかみ取りができます♪

チラシチームは「総合受付」「シールラリー」「お菓子のつかみ取り」を実施しました！13時にスタートし、約170名の方にご来場いただきました。子どもから大人まで参加があり、楽しんでいただきました。受付でシールラリーの説明、各ブースの実施内容を来場者の方にお伝えし、各ブースを回っていただきました。

シールラリーのシールは2枚以上集めるとお菓子のつかみ取りができ、シールを4枚集めると迷路が完成するデザインになっており、すべてのブースを回って迷路を完成している方もたくさんいました。シールを集め終えて、嬉しそうにシールラリー用紙を持ってきてお菓子のつかみ取りをしている子ども達の姿がとても可愛らしかったです。

【ゲーム・体験系】

実施内容: ポンポンタイムアタック



地域の方と準備♪



受付、チャレンジャーシートの記入



風船、道具選び！



ルール説明中



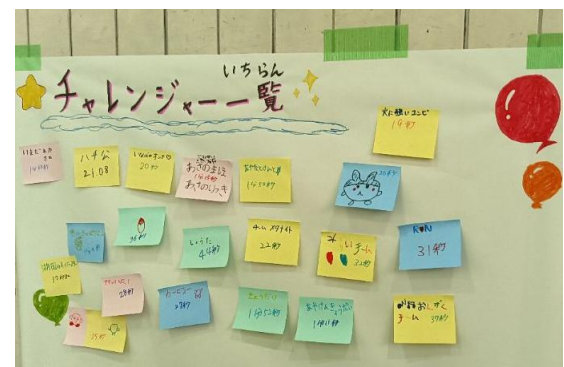
ポンポンタイムアタックの様子



タイムを記入



ポンポンタイムアタックの順位



挑戦してくれたチャレンジャー！

ゲーム・体験チームでは、「ポンポンタイムアタック」を実施しました。最初に、受付で**挑戦者の名前がわかるように「チャレンジャーシート」に記載して**、その後、「イラストが描かれている風船」と「風船をポンポンする道具」を選んでいただきました！風船をポンポンする道具も**ペットボトルやうちわ、サランラップの芯**などバリエーションを増やして参加者に楽しんでいただく工夫をしました。実際にゲームに参加したこともや大人の方からは、「とても楽しかった！もう一度やりたい！」と喜びの声を聞くことができました。**何度も遊びに来て挑戦してくれた子**もいました。

どうしたら風船を使って大人もこどもも楽しめるゲームができるか会議の中で、議論を重ねて生まれた「ポンポンタイムアタック」は大成功でした！

【学べる系】

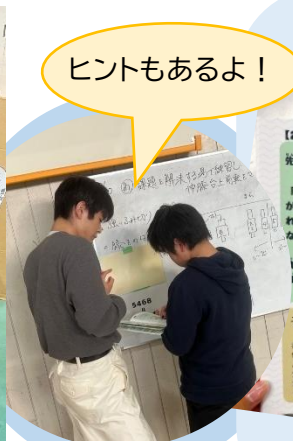
実施内容:避難所横断ウルトラ〇×クイズ



司会の地域の方と連携しながら、スライドの操作を頑張りました！！



実施内容:防災リアル脱出ゲーム



学生作 リアル脱出ゲームの冊子



実施内容:ナイス！防災ライス！



袋で炊くほかほかご飯♪

学べるチームでは、「避難所横断ウルトラ〇×クイズ」「防災リアル脱出ゲーム」「ナイス！防災ライス！」を実施しました。避難所横断ウルトラ〇×クイズでは、多くの方が参加し、**子どもと大人みんなで楽しんで問題を解きました**。司会担当の地域の方と問題スライド担当の学生がうまく連携を取りながら全3回無事に終わることができました！優勝者には、景品のプレゼントもあり、参加者のテンションはさらにアップしました。

防災リアル脱出ゲームでは、**学生が作成した冊子**を手に、子どもと保護者の方が真剣に取り組んでいる姿が印象的でした！分からない問題があれば**学生の力を借りながら進んで、見事脱出に成功**していました。

ナイス！防災ライス！では、**災害時などに活用できる、すいはん袋を使ってお米を炊く体験**を実施しました。できたご飯は、お土産として皆さんに持ち帰っていただきました。

【工作系】 実施内容: **作って飛ばそう！！たけとんぼ！**

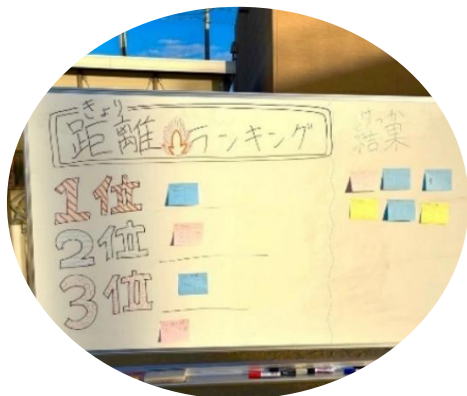


余った牛乳パックで看板づくり



学生と地域のサポートで楽しく作成中♪

作ったたけとんぼを実際に飛ばしてみました！！



飛ばした距離ランキング🔥



実際に飛ばしている様子♪

工作チームでは、「作って飛ばそう！！たけとんぼ！」を実施しました。学生と地域の方のサポートにより、来場者の方も上手にたけとんぼを作成していました。たけとんぼ作成後は、実際に外でどのくらい遠くに飛ばせるのか挑戦していました。青空の下、自分で作ったたけとんぼを張り切って飛ばす子どもと保護者の様子を見て、とても微笑ましい気持ちになりました。さらに、たけとんぼを飛ばしたあとは、その距離を測り、チャレンジャーシートに記載し、上位3位までのランキングが発表されました。作ったたけとんぼは、お土産として持って帰っていただきました♪

【その他系】

実施内容: **モルックマンと遊ぼう！**



モルックマンになりきって、
モルックの宣伝をしました！！

ペットボトルで作成したモルック

実施内容: **あなたが主役！？得意技を披露してみよう！**



大学生と小学生でなわとび対決



お題カードの発表



けん玉チャレンジ

お題カードの
内容発表



今頑張っている
ことの発表

その他チームでは、「モルックマンと遊ぼう！」
「あなたが主役！？得意技を披露してみよう！」
を実施しました。「モルックマンと遊ぼう」では、
数字のカードを引いて、その数字の数のモルック
を倒しました！モルックに初めて挑戦する方も
いましたが、**学生と地域の方の説明により、楽しんで挑戦することができました。**

体育館で実施した有志発表「あなたが主役！？得意技を披露してみよう！」では、こどもたちがお題を引いて、出たお題に対して、**積極的に発表・披露**してくれました！こどもたちのチャレンジ精神にこれからも期待したいと思います！

参加者の声

～春日小学校区と学生のコラボが無事に終了しました～



立命館大学
岡田さん

今回のまちづくりでは、学べるチームとして〇×クイズを担当しました。〇×クイズでは想像以上に参加者の方々に楽しんでもいただき、その様子を見て嬉しさを感じるとともに今後もこのような地域に関わるイベントに参加したいと思いました。

手づくりまつりを通し学生さんの色々な想像力・企画力を学び、地域から参加した人達も新しい学びがあったと考えます。また子供さんを通して保護者も参加してもらうイベント・誰もが参加できるイベントを考えていきたい。それにより、これからの地域行事の企画・担い手（手伝い）をしていただける人材を発掘したいと思いました。



小河会長



立命館大学
村西さん

手づくりまつり無事楽しく終わることが出来ました！ステージでは地域の子供達、保護者の方など様々な人の笑顔が見れてとても良かったです！！様々なハプニングがありましたが高まで準備してきた成果が発揮できたと思います！

手づくりまつり当日、天候にも恵まれ、地域の子供、家族での参加者の笑顔と、楽しかったわ！とのお声を頂きました。市職員、大学生、地域役員がそれぞれの役割分担、アイデアを出し、話し合いを重ね、準備し本番が大盛況に終わる事ができました。地域の一員として、本当に有り難うございました。



山川さん



立命館大学
徳田さん

保護者と子どものペアで参加してくださる方が多く、大人も子どもも学生も、みんなで一緒に楽しむ場面が多く見られました。そのため、手作りまつりの本来の目的である「春日地区の未来の担い手の創造」に、少しでも近づけたのではないかと感じました！

当日は大学生、市のスタッフ、地域の方々と竹とんぼ制作を担当しました。子ども達は紙コップや牛乳パックを利用した物で作ってもらい、うまく出来るか不安でしたが上手に作り上げてくれました。そして子ども達同士で飛ばし競い合って一日楽しんでくれました。



有木さん



立命館大学
平康さん

今回は本番で、どれだけお客さんが来るのか等ドキドキしながら楽しみました。実際に経験してみると良かった点も課題点も顕在化して、来年以降更に良いイベントに出来そうで総合的には非常に良いイベントだったと思います。

竹とんぼコーナーを担当しました。春日小手づくりまつりが茨木市と大学生の協力で復活でき、親子で手作りを楽しんでいる姿に PTA 当時の懐かしさと嬉しさがありました。企画・準備・運営ありがとうございました！



新谷さん



立命館大学
山内さん

事前の試作では 1～2 メートルしか飛ばず不安でしたが、当日は子どもたちが工夫を重ね、7 メートル以上飛ばす子もいて嬉しく感じました。参加人数は少なかったものの、一人一人と関わる時間が増え、地域と学生・子どもたちの交流が深まったと実感しました。

準備は段取りが悪く苦勞しました。また、当日は子どもたちの参加が少なく、大学生の皆さんに申し訳なかったです。反省点の多いイベントになりました。次回はこの経験を活かし、もっと魅力的なものにしたいです。

Q.手づくりまつりに参加された感想をお聞かせください！

弘さん